

## 令和4年度第1回西区地域包括支援センター運営協議会議事録

1. 日時 令和4年8月4日(木) 14時00分～15時45分
2. 開催場所 西区役所5階 505室
3. 出席者 委員9名、傍聴者1名

### 4. 議題

- (1) 令和3年度あんしんすこやかセンターの運営状況について
  - ①全市、西区あんしんすこやかセンターの実績報告について
  - ②地域ケア会議
  - ③センター連絡会等の実施状況
- (2) 令和4年度あんしんすこやかセンター事業計画書について
- (3) 区運営協議会の見直しについて

### 【以下、非公開】

- (4) 特定事業所へのサービス集中率について
- (5) 地域包括ケア充実のための事業目標について

### 5. 当日出された主な意見・質問及び事務局回答

#### 議題(1)(2)について

(委員) 地域ケア会議について、コロナ前は各センターで5回ほど開催していたはず。議題は、個別ケース検討やネットワーク構築が多いのか。また、ウェブ会議は可能なのか。

(事務局) 個別ケース検討については21回のうち12回、ネットワーク構築については9回。ウェブ会議は平野西神あんしんすこやかセンターで1回実施。

(委員) 地域ケア会議について、要請があれば参加可能。

(委員) 認知症サポート養成講座について、受講者の活用が進んでいない。委員自身も受講歴があるが、手伝ってほしいなど案内なし。知識は増えても活用する場がない。人材を活用する方法を役所や社協で行っていくべき。認知症サポーターが必要とされる場へ誘い、顔つなぎが必要。事業の方向性を変えていくべきではないか。

(事務局) 人材の活用方法について、今後の予定は把握できていない。

(議長) 部長会や課長会で発信していきたいと思う。

(委員) 認知症やフレイル予防が課題だと感じている。発熱外来でも、検査を実施するとほとんどがコロナ陽性。家族間での感染も増えている。コロナの影響でつどいの場がなかなかできないのは課題だが、開催できれば良いと思う。

(事務局) 保健師として新型コロナウイルス感染症対応をするなかで、家庭内感染の多さは肌で感じるところがある。コロナ禍でも活動できる場所は必要。今年度、新規立ち上げのいきいき百歳体操は3～4か所ある。センターが後方支援している結果が表れている。

### 議題 (3) について

(委員) 情報(区のデータを指すと思われる)を年1回委員へ郵送等で送ってもらい、意見書などで返信できるようにしてもらえると、意見が挙がってくるのではないかと。地域ケア会議等の際に時間を設けて実施するのも良いと思う。必要時開催というだけではもったいないと感じる。

(事務局) 令和4年9月に開催される運営協議会で、各区の意見をまとめたうえで審議していただくことになる。

(委員) 地域活動計画書は実績報告と捉えている。文書のみでは公立・中立性の判断は難しい。

(議長) 公開資料で、市全体での実績のみでは地域の実情が分かりにくい部分はある。

(委員) 会議自体はなくても良いと思うが、資料を配布して確認は必要ではないか。

(委員) 公正・中立性とはどういうことか。個人情報の問題があり、民生委員に対して答えてくれることとそうでないことがある。地域と連携がとれていないと感じることがある。

(事務局) 個人情報については、答えられる範囲とそうでないことがある。地域ケア会議の個別ケース検討時には、本人や家族に対して同意をとったうえで会議を開催している。

(議長) 公正・中立性については議題(4)で説明予定。